



1. 除幕式の様子 2. 小野新町小学校合唱部の皆さん 3. 小野中学校特設合唱部の皆さん 4. オール小野町クラブの皆さん 5. 二代目コロムビア・ローズさん、こまち混声合唱団の皆さんと町長 6. 佃光堂さん(中央) 7. 広野町の皆さん 8. 会場の皆さんと『高校三年生』を熟唱

丘灯至夫先生の胸像完成を記念した「丘灯至夫の詩をうたう会」が同日、多目的研修集会施設で開かれました。

平成22年には実行委員会により、丘先生の業績を後世に伝え、歌い継ぐことを目的に「メモリアルコンサート」が開かれましたが、今回は胸像除幕式の記念事業として行われました。また福島県地域づくり総合支援事業の助成を受け、丘先生の作品をみんなが元気に歌うことで地域に活力を取り戻し、絆を深め合い、震災から復興することを目的としています。

昼食会の後、うたう会は「高原列車は行く」で開幕しました。会場を訪れた約300人の皆さんは、歌詩集を手にも「あこがれの郵便馬車」「小町温泉小唄」「東京のバスガール」などのヒット曲を歌いながら丘先生の作品のすばらしさを確かめました。小野新町小学校、小野中学校の合唱部の児童、生徒の皆さんも出演し、同校の校歌を歌う和やかな場面もありました。

また震災当時、小野町に一時避難していた広野町や川内

村の皆さんもそろって参加し「大好きな歌をみんなで歌って、元氣になりました」と、丘先生の歌を楽しんでいました。

うたう会では計14曲を全員で熟唱し、最後は名曲「高校三年生」を会場全体で大合唱して、興奮冷めやらぬ中、その幕を閉じました。

丘先生の胸像製作にあたりご厚志を賜りました皆さん、除幕式・うたう会開催にご協力いただいたご来賓関係各位に、紙上より厚くお礼申し上げます。

関ふるさと文化の館
☎72・2120

